

お知らせ目次

行事等予定	833頁
総合	
日本鉄鋼協会代議員選挙候補者公募のお知らせ	836頁
会費納入のお願い及び年間購読のご案内	838頁
「ふえらむ」冊子版 配布の見直しについて	839頁
第187回春季講演大会 講演募集案内	840頁
「鉄と鋼」第111巻2025年8月発刊特集号「高炉鉄原料の組織と品質」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年12月31日）	842頁
論文誌特集号の別立て発行と通常号冊子版の二号合併印刷について	843頁
イベント情報	
鉄鋼工学セミナー「専科」2023年度受講のご案内	844頁
次号目次案内	846頁
会員欄（入会者・死亡退会者一覧）	847頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。
 行事等の詳細は、本会Webサイト、イベントカレンダーリンク先URLをご参照ください。
 他団体主催の行事は中止や延期になっていることもありますので、主催者等にご確認願います。

	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2023年11月			
10月31日～11月2日	第60回石炭科学会議(京都)	日本エネルギー学会	事務局 網沢洋二 Tel. 03-3834-6456 tsunasawa_jie1921@jie.or.jp
1～3日	第64回高圧討論会(千葉)	日本高圧力学会	事務局 中村千佳 Tel. 070-5545-3188 touronkai64@highpressure.jp
1～17日	日本金属学会シンポジウム「カーボンニュートラル・水素社会実現に向けた触媒材料の研究・開発の最新動向」(オンライン開催)	日本金属学会	セミナーシンポジウム係 https://www.jim.or.jp/seminarsymposium/
2日	第32回 日本鉄鋼協会・日本金属学会奨学賞の推薦校募集締切(10号772頁)	日本鉄鋼協会	奨学賞係 Tel. 03-3669-5932 inoue@isij.or.jp
2日	第249回西山記念技術講座「環境劣化の腐食科学と防食技術の新展開」(大阪 6号410頁)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
6日	第33回 材料フォーラムTOKAI(愛知)	日本鉄鋼協会・日本金属学会 東海支部	名古屋工業大学 萩原幸司 Tel. 052-735-5395 hagihara@nitech.ac.jp
6日	DX・AIの現状と溶接・接合技術への展開(東京およびオンライン)	日本溶接協会	業務部 川崎利文 Tel. 03-5823-6324 toshifumi_kawasaki@jwes.or.jp
6～8日	修士・博士学生向け「第17回学生鉄鋼セミナー 材料コース」(愛知 5号341頁)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
7～9日	第44回日本熱物性シンポジウム(千葉)	日本熱物性学会	事務局 白樫了 Tel. 03-5452-6218 jstp@iis.u-tokyo.ac.jp
9日	2023年度 溶接工学企画講座(対面＋WEB 開催)ものづくりのベースとなる研究・開発のレビュー&トレンド～「二相ステンレス鋼の溶接部性能確保のポイントと組織制御」～(東京)	溶接学会 溶接教育委員会／編集委員会	講習会係 Tel. 03-5825-4073 jws-info@tg.rim.or.jp
9, 17, 24日	2023年度日本金属学会関東支部講習会『機械学習と金属工学：最新動向と材料開発への応用』(オンライン開催)	日本金属学会 関東支部	参加申し込みフォーム Tel. 03-5734-3141 https://forms.gle/u6Zwhri2ZbBQ3vUr9
10日	第259回塑性加工技術セミナー(オンライン開催)	日本塑性加工学会	企画委員会 井村 Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
10～12日	軽金属学会 第145回秋期大会(東京およびオンライン開催)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
12～16日	2023 Joint Symposium on Molten Salts (MS12)(京都)	電気化学会 熔融塩委員会	MS12事務局 法川勇太郎 Tel. 0774-38-3498 ms12@msc.electrochem.jp
13日	高温プロセス部会ワークショップ「ビジュアルになりつつある鉄鋼のグリーン・トランスフォーメーション戦略と新たな方策の探索」(東京 申込締切11月6日)	日本鉄鋼協会	大阪大学 小西宏和 Tel. 06-6879-7479 konishi@mat.eng.osaka-u.ac.jp
13日	腐食防食部門委員会第351回例会(大阪)	日本材料学会	Tel. 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp
13, 14日	第182回塑性加工工学講座(オンライン開催)	日本塑性加工学会	企画委員会 井村 Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
13～16日	28th IFHTSE Congress(神奈川)	日本熱処理技術協会	Tel. 03-6661-7167 jsht-honbu@jsht.or.jp

	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
14日	2023年度 材料セミナー テーマ2「技術者のための鉄鋼材料入門」(大阪)	日本鉄鋼協会・ 日本金属学会 関西支部	関西支部 材料セミナー係 Tel. 06-6443-5326 n-kansai@ostec.or.jp
15~17日	超温度場材料創成学に関する国際会議 The 1st International conference on Creation of Materials by Superthermal Field 2023 (CMSTF2023) (大阪)	学術変革領域研究(A) 超温度場材料創成学 巨大ポテンシャル勾配 による原子配列制御が 拓くネオ3Dプリント	事務局 Tel. 06-6879-7477 cmstf23@mat.eng.osaka-u.ac.jp
15~17日	第49回固体イオニクス討論会(北海道)	日本固体イオ ニクス学会	実行委員会 忠永清治 Tel. 011-706-6572 ssij49@eng.hokudai.ac.jp
16日	第353回塑性加工シンポジウム(富山およびオンライン開催)	日本塑性加工 学会	企画委員会 井村 Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
16, 17日	令和5年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」(静岡)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
16~18日	高温強度・破壊力学合同シンポジウム(新潟)	日本材料学会	Tel. 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp
17日	第74回塑性加工連合講演会(富山)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 fuchibe@jstp.or.jp
21日	SICEセミナー「モデル予測制御～最適制御の基礎から応用事例・ソフトウェアツールまで」2023(オンライン開催)	計測自動制御 学会	制御部門 川喜田光則 Tel. 03-3292-0314 bumon@sice.or.jp
21, 22日	第49回腐食防食入門講習会(東京およびオンライン開催)	腐食防食学会	Tel. 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp
22日	実用表面分析セミナー2023(兵庫)	日本表面真空 学会関西支部	堀場製作所 廣瀬 潤 Tel. 090-5656-8504
24日	第108回レアメタル研究会(東京およびオンライン開催)	東京大学生産技術 研究所 岡部徹	岡部研究室 宮崎智子 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
26日~ 12月1日	International Gas Turbine Congress 2023 Kyoto (IGTC2023 Kyoto) (京都)	日本ガスター ビン学会	IGTC2023事務局 Tel. 03-3365-0095 contact@igtc2023.org
28日	日本鉄鋼協会代議員選挙候補者公募締切(本号836頁)	日本鉄鋼協会	総務グループ Tel. 03-3669-5931
28日	日本鉄鋼協会東北支部 地区講演会および若手研究者フォーラム(秋田)	日本鉄鋼協会 東北支部	秋田大学 宮野泰征 y.miyano@gipc.akita-u.ac.jp
28, 29日	2023年度第3回熱処理技術セミナー(東京およびオンライン開催)	日本熱処理技 術協会	Tel. 03-6661-7167 https://forms.office.com/r/LH2YUCsFpJ
28, 29日	溶接構造シンポジウム2023 -「カーボンニュートラル社会を担う溶接構造化技術」-(大阪)	溶接学会	事務局 木暮 Tel. 03-5825-4073 s_kogure@ttrim.or.jp
29日	創形創質工学部会 第55回トライボロジーフォーラム研究会「次世代加工潤滑油剤の開発動向」(千葉 申込締切11月10日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 馬場 渉 Tel. 084-945-4154 w-baba@jfe-steel.co.jp
29日	2023年度 材料セミナー テーマ3(関西支部・東海支部 共催セミナー)「材料科学におけるマテリアルズ・インフォマティクスの最近の発展」(大阪)	日本鉄鋼協会・日 本金属学会関西 支部・東海支部	関西支部 材料セミナー係 Tel. 06-6443-5326 n-kansai@ostec.or.jp
29日	第94回塑性加工技術フォーラム(鳥取)	日本塑性加工学会	井村隆昭 Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
29日~ 12月1日	VACUUM2023真空展(東京)(オンライン展:11月22日~12月8日)	日本真空工業会、 日本表面真空学会、 日刊工業新聞社	イベント事業本部 平井尚美 Tel. 03-5644-7221 n.hirai@nikkan.press
29日~ 12月1日	第13回 環境調和型設計とインバースマニファクチャリングに関する国際シンポジウム(EcoDesign2023)(奈良)	エコデザイン 学会連合	事務局 Tel. 06-6879-7260 ecodesign2023_secretariat@ecodenet.com
30日	第21回評価・診断に関するシンポジウム(福岡)	日本機械学会 機械力学・計 測制御部門	九州大学 井上卓見 Tel. 03-4335-7622 takumi@mech.kyushu-u.ac.jp
30日	第250回西山記念技術講座「環境劣化の腐食科学と防食技術の新展開」(東京およびオンライン開催 6号410頁)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
30日~ 12月1日	第38回分析電子顕微鏡討論会(オンライン開催)	日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会	熊本大学半導体・デジタル研究教育機構 佐藤幸生 Tel. 096-342-2281 sato-yukio@kumamoto-u.ac.jp
2023年12月			
1日	2023年度日本金属学会関東支部講習会「機械学習と金属工学:最新動向と材料開発への応用」(オンライン開催)	日本金属学会 関東支部	参加申し込みフォーム Tel. 03-5734-3141 https://forms.gle/u6Zwhri2ZbBQ3vUr9
4, 5日	鉄鋼工学セミナー「製鋼熱力学専科」(東京 本号844頁 申込締切11月6日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 中瀬憲治 Tel. 084-945-3983 k-nakase@jfe-steel.co.jp
5日	2023年度粉末冶金基礎講座《オンライン開催》	粉体粉末冶金協会	Tel. 075-721-3650 info@jspm.or.jp
6日	2023年度粉末冶金実用講座《オンライン開催》	粉体粉末冶金協会	Tel. 075-721-3650 info@jspm.or.jp
11, 12日	第183回塑性加工工学講座(愛知)	日本塑性加工 学会	企画委員会 井村隆昭 Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
13日	第197回腐食防食シンポジウム(東京)	腐食防食学会	Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
13日	水素技術基礎講座-安全な機器運用のために-(オンライン開催)	日本高圧力技術協会	Tel. 03-3516-2270 tanaka@hpij.org

	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
13~15日	修士・博士学生向け「第17回学生鉄鋼セミナー 製鉄・製鋼(資源・環境・エネルギー)コース」(千葉 5号341頁)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
14日	第354回塑性加工シンポジウム <対面+Web:ハイブリット開催>「極限材料創製・加工技術の現状と展望」- 衝撃・超高速・超高圧力を用いる加工の世界 - (熊本)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
14, 15日	鉄鋼工学セミナー「材質制御専科」(東京 本号844頁 申込締切11月14日)	日本鉄鋼協会	日本製鉄(株) 林宏太郎 Tel. 080-4602-1445 hayashi.fe7.kohtaro@jp.nipponsteel.com
15日	第95回塑性加工技術フォーラム「カーボンニュートラルに向けた製造業の最前線」(東京)	日本塑性加工学会・日本鍛圧機械工業会	企画委員会 井村隆昭 Tel. 03-3435-8301 jstp-assistant@jstp.or.jp
15日	第31回基礎講座(京都)	日本塑性加工学会関西支部	飯塚高志 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
20日	第187回春季講演大会 討論会、国際セッション申込締切(本号840頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
2024年1月			
10日	第187回春季講演大会 一般講演、予告セッション、共同セッション申込締切(本号840頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
12日	第109回レアメタル研究会(東京およびオンライン)	東京大学生産技術研究所 岡部徹	岡部研究室 宮寄智子 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
31日~2月2日	InterAqua 2024 第15回水ソリューション総合展(東京)	(株)JTBコミュニケーションデザイン	InterAqua事務局 interaqua@jtbcom.co.jp
2024年2月			
29日	「鉄と鋼」第110巻2024年8月発刊特集号「エリアセンシングによる製鉄所設備診断」原稿募集締切(10号773頁)	日本鉄鋼協会	広島大学 石井 抱 Tel. 082-424-7692 iishii@hiroshima-u.ac.jp
2024年3月			
1日	「鉄と鋼」第110巻2024年9月発刊特集号「鉄鋼関連材料に関連する非破壊/オンサイト分析法」原稿募集締切(10号773頁)	日本鉄鋼協会	東北大学 今宿 晋 Tel. 022-215-2132 susumu.imashuku.e8@tohoku.ac.jp
1日	第110回レアメタル研究会(東京およびオンライン)	東京大学生産技術研究所 岡部徹	岡部研究室 宮寄智子 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
13~15日	第187回春季講演大会 (東京 本号840頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
18日	2023年掲載論文対象の論文賞候補論文の自薦締切(10号775頁)	日本鉄鋼協会	編集グループ Tel. 03-3669-5933 editol@isij.or.jp
31日	「鉄と鋼」第110巻2024年10月発刊特集号「鉄鋼業における攻めの操業を支えるシステムレジリエンス」原稿募集締切(10号774頁)	日本鉄鋼協会	神戸大学 藤井 信忠 Tel. 078-803-5364 nfujii@phoenix.kobe-u.ac.jp
2024年4月			
26日	「ISIJ International」2025年1月特集 Forming and heat treatment technologies that support the steel manufacturing process (鉄鋼製造プロセスを支える加工と熱処理技術)原稿募集締切(10号775頁)	日本鉄鋼協会	東京電機大学 柳田 明 Tel. 070-7667-9096 yanagida@mail.dendai.ac.jp 岡山大学 上森 武 Tel. 086-251-8033 uemori@okayama-u.ac.jp 日本製鉄 大塚 貴之 Tel. 070-3914-4745 otsuka.6gx.takayuki@jp.nipponsteel.com
2024年5月			
22, 23日	第13回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO 2024- (愛知)	名古屋国際見本市委員会	Tel. 052-735-4831
2024年6月			
17~19日	12th International Conference on Molten Slags, Fluxes and Salts (MOLTEN 2024) (Australia)	AusIMM	conference@ausimm.com.au.
2024年7月			
3~5日	第61回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	学術振興部学術課 Tel. 03-5395-8081 happyokai@jrias.or.jp
31日	「ISIJ International」2024年12月特集号「New Developments in High Temperature Processing of Steels and Related Materials Leading the Sustainable Society, and Key Properties of High Temperature Melts(持続可能社会の実現を支える鉄鋼および関連材料の高温プロセッシング、ならびに融体物性に対する新展開)」原稿募集締切(10号774頁)	日本鉄鋼協会	大阪大学 鈴木賢紀 Tel. 06-6879-7468 suzuki@mat.eng.osaka-u.ac.jp
2024年9月			
18~20日	第188回秋季講演大会(大阪)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
2024年10月			
13~17日	2024年粉末冶金国際会議(神奈川)	日本粉末冶金工業会 粉体粉末冶金協会	運営事務局 Tel. 070-3601-5439 worldpmm2024@jtbcom.co.jp

	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2024年11月			
12～15日	第2回地球環境のための炭素の究極利用技術に関する国際シンポジウム(CUUTE-2)	日本鉄鋼協会	CUUTE-2事務局 cuute-2@or.knt.co.jp
2024年12月			
31日	「鉄と鋼」第111巻2025年8月発刊特集号「高炉鉄原料の組織と品質」原稿募集締切(本号842頁)	日本鉄鋼協会	東京工業大学 林 幸 Tel. 03-5734-3586 hayashi.m.ae@m.titech.ac.jp

総 合

日本鉄鋼協会代議員選挙候補者公募のお知らせ

選挙管理人 上島 良之、藤田 文夫

一般社団法人日本鉄鋼協会の社員である代議員を選出するための選挙を行います。それに先立ち、公募による代議員候補者を募集します。立候補される方は下記条件をご確認の上、応募様式に必要事項を記載し、選挙管理事務局まで11月28日必着で郵送してください。

1. 立候補受付期間：2023年11月1日（水）から11月28日（火）まで
2. 立候補の条件：

1）立候補者は、2023年11月1日時点で正会員の会員歴が継続して10年以上あること

2）正会員である20人の推薦者がいること。1推薦者が推薦できる候補者は1名とする

3）2023年11月1日時点で、立候補者と推薦者が全員年会費を完納していること
3. その他：

・応募書類に記載された内容は代議員選挙にのみ利用し、選挙管理事務局にて適正に管理いたします。

・選挙管理事務局より推薦者の方に問い合わせをすることがあります。

【代議員選挙および代議員の任期】

12月上旬に理事会推薦の候補者および公募による代議員立候補者からなる代議員名簿を作成し、協会事務局で閲覧するほか、ホームページに公告する。

候補者数が定員枠（160名）以下の場合、投票を行わず全候補者当選とする。

代議員選挙は、2年に1度実施することとし、代議員の任期は、選挙後最初に開催される定時社員総会の終結の時から、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

日本鉄鋼協会代議員選挙立候補者応募

2023年 月 日

私は、一般社団法人日本鉄鋼協会代議員選挙に立候補します。

フリガナ 氏 名		会員番号
所属・役職		
連絡先	〒 TEL. E-mail :	

推薦者

	会員番号	推薦者氏名	所属
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

選挙管理事務局：(一社)日本鉄鋼協会 総務グループ 岩津、皆川
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5F
TEL. 03-3669-5931 E-mail: admion@isij.or.jp

会費納入のお願い及び年間購読のご案内

I. 会費納入のお願い

2024年の会費納入時期が近づきました。個人会員の方は、以下要領にて、会費をお支払い下さいますようお願い申し上げます。なお、お支払い方法につきましては、環境負荷低減へ向けたペーパーレス化の観点から、可能な限り自動振替またはクレジットカード払いをご利用くださいますようお願い申し上げます。

1. 支払期限

- ・会費は前納となっておりますので、2023年12月末日までに、2024年（1カ年分）の会費をお支払い下さい。
- (1) 会員資格停止：2023年12月末日までに2024年会費のお支払いがない場合、会員資格を停止します。（定款施行規則第19条）
＜停止される会員サービス＞ 会報誌「ふえらむ」の冊子版送付・電子版利用、本会ホームページ中の会員限定ページへのアクセス（WEB講演会参加・アーカイブ利用等）、論文誌「鉄と鋼」「ISIJ International」の会員年間購読料提供、有料イベント（講演大会・講演会・セミナー等）の会員価格提供等
- (2) 会員資格喪失：2023年会費未納の方は、2024年会費と併せて2023年12月末日までにお支払い下さい。
2024年1月末時点で2023年会費のお支払いのない場合、会員資格を喪失することになります。（定款第11条）

2. 支払方法

- 会費は下記いずれかの方法でお支払いいただけます。①②は、本会ホームページ「会員メニュー」からお手続きください。
- ①自動振替
今回より自動振替を新規ご希望の方は、「会員メニュー」の「会費の自動振替申込」から申込書をダウンロードし、ご記入・ご捺印の上、会員・広報グループへご郵送下さい（2023年12月15日（金）必着）。
 - ②クレジットカード
「会員メニュー」から「クレジットカード払い」を行ってください。
 - ③その他
会費請求書に同封の払込取扱票（コンビニ、郵便局窓口、スマホ決済）をご利用下さい。

3. 会費年額（消費税等不課税）

正会員：9,800円 正会員（シニア）：4,900円 準会員：4,900円 準会員（若手）：3,000円 学生会員：3,000円

II. 年間購読のご案内

会報、論文誌（冊子）、講演大会概要集（CD-ROM）年間購読をご希望の場合は、会費と併せてお支払い下さい。
2023年12月末日までにお支払いいただくと、2024年1号（講演大会概要集は春季大会分）よりお手元に届きます。
「ふえらむ」冊子版については、2024年1月より配布形態が変わります。詳しくは次ページをご覧ください。

会報、論文誌	冊子（月刊 毎月送付）			電子版 <参考>
	料金	対象会員	申込	
会報誌 「ふえらむ」	無料	正、正（シニア）会員： 原則冊子配布（不要の希望あれば配布なし） 準、準（若手）、学生会員： 電子版利用（原則冊子配布なし） 名誉、正（永年）、賛助会員： 希望者へ配布	冊子配布 要/不要のご希望は 「会員メニュー」から	個人会員は無料閲覧 （本会ホームページ）
和文論文誌 「鉄と鋼」	2,750円／年 （消費税等10%）	正、正（永年）、正（シニア）、 準、準（若手）、学生、賛助会員	新規購読/キャンセル 申込は 「会員メニュー」から	一般公開 （J-STAGE）
欧文論文誌 「ISIJ International」	5,200円／年 （消費税等10%）			

講演大会概要集	CD-ROM（春秋講演大会開催時発行 年2回送付）		
	料金	対象会員	申込
「材料とプロセス」	7,400円／年 （消費税等10%）	正、正（永年）、正（シニア）、 準、準（若手）、賛助会員	新規予約/キャンセル申込は 「会員メニュー」から 締切：2024年1月31日（水）
	無料	学生会員	

春秋講演大会毎の申込（前期・後期（当日）申込）については、別途ホームページをご参照下さい。

Ⅲ. インボイス対応の請求書・領収書について

「会員メニュー」からダウンロード可能です。領収書は入金確認後に発行できます。(2023年11月中旬以降予定)
会費お支払い・購読申込等の手続きは、本会ホームページ「会員メニュー」へ
https://y100.isij.or.jp/acceptance/kaiin_menu/default.php

問合せ先：(一社) 日本鉄鋼協会 会員・広報グループ
TEL. 03-3669-5931 FAX. 03-3669-5934 E-mail: members@isij.or.jp

「ふえらむ」冊子版 配布の見直しについて

日本鉄鋼協会では、環境負荷低減のためのペーパーレス化に取り組んでいます。
このため、現在会員各位へ無料で配布している「ふえらむ」冊子体について、会員の種類による配布形態の見直しを行うこととなりました。具体的には、スマートフォン、タブレットの普及により、書籍やジャーナルを電子版で読むことが多くなっている世代の準会員（若手含）、学生会員各位には、2024年1号より原則として電子版を閲覧いただき、冊子版は希望者のみ配布とさせていただきます。また、上記以外の会員各位におかれましても、冊子版不要のご希望があれば、随時お申出いただければ幸いです。

会員の皆さまには、ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

<2024年1号以降の「ふえらむ」冊子配布方法（原則）>

- ・正、正（シニア）会員：原則配布します（現状通り）。ただし不要の希望があれば配布しません。
- ・準、準（若手）、学生会員：原則配布しません。電子版をご利用ください。ただし送付の希望があれば配布します。
- ・名誉、正（永年）、賛助会員：希望者へ配布します。会費請求時に冊子配布要/不要のアンケートを行います。

<変更のタイミング>

ふえらむVol.29, No.1（2024年1号）より

<ふえらむ冊子配布 要/不要についてのご連絡について>

ふえらむ冊子配布について、要/不要のご希望のある方は、下記の①（本会ホームページ）の方法での手続きにご協力よろしくお願い申し上げます。ご不明点は、会員・広報グループへご連絡ください。

なお、ご希望は随時承りますが、ご連絡到着時以降の発送号からの対応となりますので、ご了承ください。

問合せ先：(一社) 日本鉄鋼協会 会員・広報グループ
TEL. 03-3669-5931 FAX. 03-3669-5934 E-mail: members@isij.or.jp

①本会ホームページ「会員メニュー」から手続きできます。 ②下記用紙コピーを、E-mail、FAX等でお送りいただいても結構です。
https://y100.isij.or.jp/acceptance/kaiin_menu/default.php

鉄鋼協会 2024年ふえらむ冊子配布変更申込用紙



氏 名

会員番号

連絡先

(E-mail, TELなど)

■「ふえらむ」冊子配布変更申込

書名（媒体）	年間購読料	申込欄
ふえらむ（冊子）	無料	☐ 冊子を希望する ☐ 冊子を希望しない

第187回春季講演大会 講演募集案内

■会期：2024年3月13日（水）～15日（金）

■開催地：東京理科大学 葛飾キャンパス（東京都葛飾区）

1. 講演内容：

鉄鋼およびその周辺領域に関連がある**オリジナルな内容**に限ります。

2. 講演資格：

講演発表者は本会個人会員に限ります。非会員（依頼講演を除く）で発表を希望される方は、早めに所定の入会手続きをお済ませ下さい。なお、**著者（発表者と共著者を合わせて最大6名まで）の半数以上を本会個人会員として下さい。**

3. 講演時間：

一般講演の発表時間は15分、質疑討論時間5分です。討論会、国際セッションの場合は、座長のプログラミングにより若干時間が異なります（目安時間：発表時間および質疑討論時間を含め、20～30分）。全会場、PCプロジェクターを用いての発表となります。会場には発表用PCの用意はありません。**発表者は必ずご自身で発表用PCをご持参下さい。**

4. プログラム：

- ・ホームページ上に、プログラム速報版を1月下旬に掲載し、2月中旬に最終版に掲載します。印刷版プログラムは、「ふえらむ3号」へ同封いたします（「ふえらむ」冊子版の配布を希望される会員のみのみ）。
- ・プログラムおよび講演原稿は、第187回春季講演大会講演概要集「材料とプロセス（CD-ROM）」Vol.37（2024）No.1に掲載します。
- ・「材料とプロセス（CD-ROM）」の年間予約、前期申込、後期（当日）申込された会員に「材料とプロセス」のWeb公開を実施します。公開期間は**2024年3月4日（月）～3月18日（月）**を予定しております。
- ・前期・後期（当日）申込をされた方につきましては、「材料とプロセス（CD-ROM）」の発送は、講演大会終了後を予定しております。

5. 講演申込方法：

後述の提出期限までに、下記の手順で申込を行って下さい。

- ①第187回春季講演大会 講演申込みページ（<https://www.isij.or.jp/meeting/2024spring/submission.html#submission>）の「講演申込み」をクリックして下さい（外部のサイトへ移動します）。
- ②講演申込登録サイト（<https://www.gakkai-web.net/gakkai/isij/>）が表示されますので、「新規登録」を選択して下さい。
- ③講演区分の選択画面が表示されますので、討論会／国際セッション／一般講演／予告セッション／共同セッションの中から希望する講演区分を選択して下さい。
- ④講演情報入力画面が表示されますので、必要事項を選択・入力して下さい。
- ⑤登録が正常に受け付けられると、登録完了画面が表示されると同時に受付完了の電子メールが配信されます。受付番号とパスワードが記載されていますので、大切に保管して下さい（今後の登録内容の確認・修正や講演原稿送信等に必要です）。

6. 講演原稿作成・提出方法：

講演申込登録サイトから、後述の提出期限までに講演原稿を送信して下さい。

- ・原稿枚数：A4サイズ1枚（討論会、国際セッションは4枚以内）。
- ・ファイル形式：PDFのみ
- ・ファイルサイズ：2MB以下（討論会、国際セッションは5MB以下）

【注意事項】

- ・ホームページに、『講演原稿の書き方』を掲載していますので、ご参照下さい。
- ・国際セッションの講演申込および原稿は英語で作成願います。
- ・締切後は、**自己都合による原稿差し替えおよび取消は一切お受けいたしません。**必要な所属機関内の手続き等をお済ませの上、原稿を提出願います。

7. 講演申込および講演原稿の提出期限：

討論会、国際セッション： 2023年12月20日（水）17:00まで
一般講演、予告セッション：2024年 1月10日（水）17:00まで
共同セッション： 2024年 1月10日（水）17:00まで

8. その他：

- ・投稿原稿の著作権（著作権法第27条または第28条に規定する権利を含む）は受付年月日より本会に帰属します。**「材料とプロセス」の発行日（公知日）は、2024年3月1日です。**
- ・申込データをもとに講演プログラムを作成します。プログラムには、氏名、所属、題目、発表時間、発表会場が掲載されます。プログラムは、ホームページ上での公開、「材料とプロセス」への掲載を行います。なお、申込データは講演大会に関する業務以外には使用しません。
- ・共同セッションのみ、公開から一年間に限り概要を金属学会講演ウェブサイトに掲載いたします。

学生ポスターセッション発表募集案内

当会では、多くの学生に春秋の講演大会での発表の機会を提供するために、学生ポスターセッションを開催しています。学生の方々が、研究途上の結果でも気軽に話題として発表されるよう希望します。実施要領は以下の通りです。

1. 発表資格：

会員・非会員を問わず学生（大学・大学院・短期大学・高等専門学校あるいはそれに準ずる学校）に限ります。

2. 発表申込方法：

後述の提出期限までに、下記の手順で申込を行ってください。

- ①第187回春季講演大会 講演申込みページ (<https://www.isij.or.jp/meeting/2024spring/submission.html#submission>) の「学生ポスターセッション発表申込み」をクリックして下さい（外部のサイトへ移動します）。
- ②学生ポスターセッション発表申込登録サイト (<https://www.gakkai-web.net/gakkai/isij/poster>) が表示されますので、「新規登録」を選択して下さい。
- ③発表情報入力画面が表示されますので、必要事項を選択・入力して下さい。
- ④登録が正常に受け付けられると、登録完了画面が表示されると同時に受付完了の電子メールが配信されます。受付番号とパスワードが記載されていますので、大切に保管して下さい（今後の登録内容の確認・修正やアブストラクト送信等に必要です）。
- ⑤申込締切の約2週間後に、第187回春季講演大会 学生ポスターセッションホームページ (<https://www.isij.or.jp/meeting/2024spring/student-poster.html#ps>) に、ポスター発表番号、参加スケジュール等を掲載しますのでご確認ください。

3. アブストラクトの作成・提出方法：

学生ポスターセッション発表申込登録サイトから、後述の提出期限までにアブストラクトを送信して下さい。

- ・原稿枚数：A4サイズ1枚
- ・ファイル形式：PDFのみ（2MB以下）

なお、提出いただきました原稿は第187回春季講演大会講演概要集「材料とプロセス（CD-ROM）」Vol.37（2024）No.1に掲載いたします。指導教官が非会員の場合は掲載されませんので、指導教官の方は必ずご入会下さい。

4. 発表申込およびアブストラクトの提出期限：

2024年1月10日（水）17:00まで

5. 展示：

ポスター1発表ごとに、パネル1枚を準備します。展示・発表は講演大会2日目午後に行います。

6. 表彰：

審査員の投票により優秀ポスターを選出の上、引き続き同日夜刻に同大学内で開かれるISIJビアパーティー席上で発表し、賞品を贈呈します。ポスター発表者は、ISIJビアパーティーに無料でご参加いただけます。

7. 参加賞：

1年間の学生会員資格を進呈いたします（既に学生会員の場合は、さらにもう1年間の学生会員資格）。非会員の方につきましては、申込締め切りの約2週間後に学生ポスターセッションホームページに入会手続き方法を掲載しますので、手続き方法を確認後、入会申込をお願いいたします。

なお、ポスター発表者が一般講演、予告セッション、共同セッション、討論会、国際セッションを聴講する場合、講演大会への参加申込は不要です。

討論会／予告セッション／国際セッション／共同セッション募集案内

討論会、予告セッション、国際セッションおよび共同セッションにつきましては、インターネット申込開始に合わせ、鉄鋼協会ホームページに11月上旬よりテーマ内容を掲載しますのでご確認ください。

講演大会参加申込方法のご案内

講演大会に参加する場合、講演概要集「材料とプロセス（CD-ROM）」（参加費含む）の購入とネームカードの着用が必要です。「材料とプロセス」は、次の方法で購入できます（講演発表者も「材料とプロセス（CD-ROM）」の購入が必要です）。

1. 年間予約：（受付期間：2023年11月6日（月）～2024年1月31日（水））

- ・2024年会費請求書に同封の「コンビニ振込用紙」または、本会ホームページ「会員メニュー」からクレジット決済でお申込みください。
（オンライン版でのリンク先：https://y100.isij.or.jp/acceptance/kaiin_menu/default.php）
- ・ご予約された個人会員各位へは、講演大会開催の約2週間前に「材料とプロセス」を郵送いたします。「材料とプロセス」Web公開も活用いただけます。

「材料とプロセス」年間予約価格（2024年春季および秋季講演大会参加費を含む）※消費税等込

正・準・賛助会員	7,400円/（2大会分）
学生会員	無料

2. 前期申込：（受付期間：2024年2月1日（木）～3月6日（水））

- ・インターネットでの受付となります。
- ・支払い方法：オンラインクレジットカード決済または銀行振込

- ・「材料とプロセス」は講演大会終了後に郵送いたします。講演大会期間中は、「材料とプロセス」Web公開をご活用ください。
 - ・2024年会費納入済みの本会個人会員が対象者です。
3. 後期（当日）申込：（受付期間：2024年3月8日（金）～3月15日（金））
- ・インターネットでの受付となります。
 - ・支払い方法：オンラインクレジットカード決済のみ
 - ・講演大会当日も申し込み可能ですが、現地受付での現金によるお支払いは承っておりません。ご了承ください。
 - ・「材料とプロセス」は講演大会終了後に郵送いたします。講演大会期間中は、「材料とプロセス」Web公開をご活用ください。
 - ・2024年会費納入済みの本会個人会員が対象者です。

「材料とプロセス」前期・後期（当日）申込価格（2024年春季講演大会参加費を含む）※消費税等込

	前期申込	後期（当日）申込
正・準・賛助・外国会員	6,200円	9,000円
学生会員、海外在住学生会員	無料	無料

4. 日本金属学会との相互聴講申込：
- 別途、ホームページ等でご案内いたします。

※講演大会、学生ポスターセッションの開催方法ならびに大会参加申込方法については今後変更になる可能性があります。あらかじめ、ご了承ください。最新情報はホームページにてご確認ください。
<https://www.isij.or.jp/meeting/index.html>

「鉄と鋼」第111巻2025年8月発刊特集号「高炉鉄原料の組織と品質」原稿募集のご案内
(投稿締切日：2024年12月31日)

製鉄におけるCO₂排出量削減は重要かつ喫緊の課題であり、現在、全世界においてカーボンニュートラルに向けた製鉄プロセス開発が取り組まれています。焼結鉱、ペレットなど高炉鉄原料の組織最適化による品質向上は、高炉工程における還元材比削減、CO₂排出量およびエネルギー消費量削減につながります。「高品質焼結鉱の鉱物組織マルチスケール評価」研究会では、焼結鉱の構成相の中でも高品質化を担う重要な鉱物相でありながら、未解明な部分が多い多成分カルシウムフェライト（多成分CF）相に着目し、焼結鉱組織のマルチスケール計測手法の確立と、その手法を用いた組成・結晶構造・形態の関係解明を行ってきました。また、これらが被還元性に及ぼす影響を評価し、焼結鉱組成の状態図作成を行うことにより、高被還元性を有する焼結鉱の鉱物組織とその作りこみ技術に関する研究を進めてきました。

今回、本研究会の分野に関連する研究成果を、鉄鋼協会の会員各位、一般読者に纏まった形で知って頂くことを目的として特集号を企画いたしました。原稿を一般からも広く募集いたしますので、奮ってご応募ください。

1. スコープ：
- 高炉の鉄原料である焼結鉱やペレットの組織と品質に関連する研究成果を取り纏め、高炉工程における還元材比の削減、CO₂排出量およびエネルギー消費量の削減に資することを目指す。
2. 投稿締切：
- 2024年12月31日（火）必着（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
3. 発刊予定：
- 「鉄と鋼」111巻8月15日号（2025年8月15日発刊）
4. 投稿規定、審査方法：
- 投稿規定は、「鉄と鋼」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
https://tetsutohagane.net/submission/guide_to_authors/
審査は通常の審査方法に準拠します。
5. 企画世話人・問合せ先：
- 林 幸 東京工業大学物質理工学院 教授
TEL: 03-5734-3586 E-mail: hayashi.m.ae@m.titech.ac.jp
6. 原稿送付先：
- 下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/tetsutohagane>
電子投稿の操作に関しご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
(TEL: 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp)

論文誌特集号の別立て発行と通常号冊子版の二号合併印刷について

本会論文誌編集委員会では、『論文誌「鉄と鋼」』、『ISIJ International』掲載迅速化のための制作工程および投稿手続きの見直しについて』の会告を7月に掲載し、論文をいち早く公表するために、制作工程および投稿手続きを改善し、制作期間を短縮することをお知らせいたしました。

そこでご説明しましたように、現在、掲載号の確定を著者校正終了時とし、論文毎の制作状況に合わせて柔軟に掲載号を決めることに掲載フローを変更しつつあります。本格的な運用は2024年からとなります。また、投稿手続きの改善等は9月より実施しています。

その際、鋭意検討中とお知らせしていた「特集号の別立て発行と通常号冊子版の二号合併発行」については、検討の結果、以下のようになりました。2024年1月より実施いたします。会員および著者の方々にはご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 特集号別立て発行について

今まで論文誌は年間12号の発刊と定め、その号数内で通常号と特集号を発刊してきましたが、特集号の次の通常号の論文は、公表までプラス1か月の待機を余儀なくされるものがありました。論文をいち早く公表することは著者に均等に付与されていなければならないことから、通常号は毎月発刊することとし、特集号は通常号とは別に発刊することにいたしました。

【年間発行数、電子版発行日、年間購読料】

項目	論文誌	現在	2024年1月以降
年間発行数	鉄と鋼	通常号、特集号合わせて12号	通常号 12号、 特集号 数号（号数未定）
	ISIJ Int.		
電子版発行日	鉄と鋼	通常号、特集号とも毎月1日	通常号 毎月1日
			特集号 発行月15日
	ISIJ Int.	通常号、特集号とも毎月15日	通常号 毎月15日
			特集号 発行月30日（2月は28日）
年間購読料	鉄と鋼	会員 2,750円	変更無し（同一額）
		一般 26,400円	
	ISIJ Int.	会員 5,200円	
		一般 50,292円	

2. 通常号冊子版合併印刷について

特集号を別立てしたことによる経費増を節減するため、冊子版については二つの号を合併印刷することを検討して、掲載数の少ない「鉄と鋼」で通常号二号合併印刷を試行することといたしました。問題がなければ「ISIJ Int.」についても実施を検討する予定です。また、「鉄と鋼」は毎月1日、会報「ふえらむ」に同封し送料を抑えていることから、今後も冊子版はふえらむに同封して送付することといたしました。

なお、電子版（J-STAGE）は、現状どおり毎月公開します

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tetsutohagane/list/-char/ja>

【冊子版発行日、発送日】

論文誌	号別	2024年1月以降
鉄と鋼	通常号	（二号合併印刷）偶数月1日発行、同日発送
	特集号	（単独印刷）発行月15日、翌月1日発送
ISIJ Int.	通常号	毎月15日、同日発送
	特集号	発行月30日（2月は28日）、同日発送

（例）「鉄と鋼」1月通常号、2月通常号 ⇒ 冊子版合併印刷し、2月1日冊子版発行・発送

「鉄と鋼」3月特集号 ⇒ 冊子版は単独印刷し、3月15日冊子版発行、4月1日発送

イベント情報

鉄鋼工学セミナー「専科」 2023年度受講のご案内

鉄鋼工学セミナー「専科」では、鉄鋼分野の将来を担う熱意のある中堅技術者の人材育成強化を目的とし、高い専門性を有する技術者・研究者を育成するために、より現場に密着した技術に関わる講義や、専門性を高めるような講義を企画しています。2023年度は、「凝固専科」、「精錬プロセス解析専科」、「製鋼熱力学専科」、「強化機構専科」、「水素脆化専科」、「材質制御専科」の6テーマの参加者募集をいたします。このうち今回は2テーマにつきまして皆様にお知らせ申し上げます。

以下の案内を参照され、奮ってご参加下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

【I】「製鋼熱力学専科」受講のご案内

1. 期日：2023年12月4日（月）10：00～5日（火）12：00
2. 会場：日本鉄鋼協会 会議室（状況によりオンライン開催に変更する場合があります）
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館5階（TEL: 03-3669-5933）
※地図をご参照下さい。 <https://isij.or.jp/about/index.html#office>

3. 講義の概略：

日本の鉄鋼業が国際競争力を維持していくためには、鋼の成分や介在物の量・形態を決定づける製鋼プロセスにおいて、高度で厳格な制御を実現する必要がある。限られた処理時間内に目標とする成分・介在物に到達するために、速度論とともに熱力学情報の重要性は言うまでもない。また、新規なプロセスを計画・立案する際には、そのプロセスが成立するかどうかを熱力学的に評価し、開発推進の妥当性を確認する必要がある。

本専科ではこれから研究開発の中核になる世代の若手研究者を対象に、熱力学を駆使する能力を高めることによって、製鋼プロセスにおけるデータの整理や考察が自分自身でできるようになることを目標とする。講義では、溶銑予備処理から二次精錬における熱力学を利用した代表的な解析事例をとりあげ、使用頻度の高い熱力学の知識を概説した後に、具体的な数値を使って平衡値などの計算方法を提示する。

<講義目次>

- | | |
|----------------|-----------------|
| (1) 熱力学諸量 | (5) ステンレス・高合金精錬 |
| (2) 脱炭、脱窒 | (6) 脱硫（溶銑、溶鋼） |
| (3) 脱酸平衡、複合介在物 | (7) 脱リン（溶銑、溶鋼） |
| (4) 酸素センサー | (8) トランプエレメント |

演習を中心に行います。ノートパソコンの持参をお願いします。

4. プログラム概略：

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 12/4（月） 10:00集合 | 12/5（火） 9:00～12:00 講義 |
| 10:00～10:05 事務連絡 | アンケート収集後、解散 |
| 10:05～18:00 講義（途中昼食休憩あり） | |
| 18:30～20:00 意見交換会（状況により中止する場合あり） | |

5. 講師：内田祐一（日本工業大学 基幹工学部 教授）
6. 幹事：中瀬憲治（JFEスチール：本コースの円滑な運営のための世話役）
7. 募集定員：10～15名（定員オーバーの場合や参加資格を満たさない場合はお断りすることがあります。）
8. 参加資格：国内に生産拠点を有する維持会員企業に属する日本鉄鋼協会個人正会員
国内に生産拠点を有する維持会員企業の推薦を受けた企業社員（日本鉄鋼協会個人正会員）
日本の大学に属する若手教員（日本鉄鋼協会個人正会員）
上記の中で、鉄鋼工学セミナー修了者または同等以上の経験・能力を有する方

9. 費用（税込）：受講料 26,000円（本会維持会員会社所属の方、大学若手教員）
36,000円（上記以外の方）
意見交換会参加費 5,000円
※当日現金支払いでお願い致します。領収書を発行いたします。
※受講料は事前カード決済になります。申込締切後、事務局より決済に関するご連絡を差し上げますので、支払い期日までにお手続き下さい。
※宿泊は各自でご手配願います。

10. 申込締切日：2023年11月6日（月）期日厳守

キャンセルは2023年11月20日（月）までをお願いいたします。

※（クレジットカード決済の場合）お支払い後のキャンセルは受け付けません。

（参加者変更についてはご相談下さい）

11. 申込方法：本会Webサイト（<http://www.isij.or.jp/>）上の申込書に入力し、送信して下さい。

12. 問合せ先（幹事）：JFEスチール（株）スチール研究所 製鋼研究部 中瀬憲治
TEL: 084-945-3983 / E-mail: k-nakase@jfe-steel.co.jp
〒721-8510 福山市銅管町 1

【Ⅱ】「材質制御専科」受講のご案内

1. 期日：2023年12月14日（木）13：00～15日（金）13：00

2. 会場：日本鉄鋼協会 第1・2会議室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館5階 TEL: 03-3669-5933

※地図をご参照下さい。https://www.isij.or.jp/about/office/

3. 講義の概略：

鉄鋼材料は様々な市場で利用され、我々の生活を支えている。第2次世界大戦後急激な需要の伸びに呼応して生産量を伸ばした鉄鋼業であるが、オイルショックを起点としてその生産量はほぼ横ばい状況である。しかしながら、製造される製品自体は大きな進化を遂げ、国内の各種製造業の国際競争力強化に貢献している。新しい、高機能な鉄鋼材料の開発と実用化、これこそが「材質制御」そのものである。鉄鋼材料へ要求される特性は利用される市場環境によって大きく異なる。本専科では、特に自動車用薄鋼板を念頭に置きながら、強度と塑性変形能に焦点を当て、主に低合金鋼のミクロ組織制御と材質制御技術について、最近の進歩も含めて説明したい。基礎的な内容は当然のことながらすべての鉄鋼材料に適用可能である。目的の性質上、計算によって定量化を試みる必要がある。受講者にはExcel等が利用可能なPCの準備をお願いしたい。可能でない場合は関数計算機を持参いただきたい。

<講義目次>

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 応力-ひずみ曲線と支配要因 | 5. 析出物による材質制御 |
| 2. 実際の製造工程で行われる材質制御 | 6. 熱力学と結晶学 |
| 3. 熱間加工によるミクロ組織制御 | 7. ミクロ組織制御の妙技 |
| 4. 相変態によるミクロ組織制御 | |

4. プログラム概略：

12/14（木） 13:00集合	12/15（金） 9:00～13:00 講義
13:10～18:00 講義	集合写真撮影、アンケート収集後、解散
18:30～20:30 意見交換会	※平服でご参加ください。

5. 講師：高橋 学（九州大学教授）

6. 幹事：林宏太郎（日本製鉄：本コースの円滑な運営のための世話役）

7. 募集定員：10～20名（定員オーバーの場合や参加資格を満たさない場合はお断りすることがあります。）

8. 参加資格：国内に生産拠点を有する維持会員企業に属する日本鉄鋼協会個人正会員

国内に生産拠点を有する維持会員企業の推薦を受けた企業会員（日本鉄鋼協会個人正会員）

日本の大学に属する若手教員（日本鉄鋼協会個人正会員）

上記の中で、鉄鋼工学セミナー修了者または同等以上の経験・能力を有する方

9. 費用（税込）：受講料 26,000円（※本会維持会員会社所属の方、大学若手教員）
36,000円（※上記以外の方）

意見交換会参加費 5,000円

※受講料は事前カード決済になります。申込締切後、事務局より決済に関するご連絡を差し上げますので、支払い期日までにお手続き下さい。

※会場までの交通手段および宿泊は各自でご手配ください。

10. 申込締切日：2023年11月14日（火）期日厳守

キャンセルは2023年11月30日（木）までをお願いいたします。

11. 申込方法：本会ホームページ（http://www.isij.or.jp/）上の申込書に入力し、送信して下さい。

※鉄鋼工学セミナー「材質制御専科」：https://isij.or.jp/event/event2023/senka2023-6.html

12. 問合せ先（幹事）：日本製鉄（株）技術開発本部 先端技術研究所 解析科学研究部 主幹研究員 林宏太郎

〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1-8

TEL: 080-4602-1445 / FAX: 06-6489-5960 E-mail: hayashi.fe7.kohtaro@jp.nipponsteel.com

次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふえらむ Vol.28 (2023) No.12 掲載記事

特集「カーボンニュートラルに向けた日本の各産業の取り組み」

Techno Scope

次世代航空機の実現を目指して

特集記事

カーボンニュートラルに向けた鉄鋼業の取り組み
..... 星野岳穂(東京大学)
カーボンニュートラルに向けたアルミニウム業界の取り組み
..... 能登 靖(日本アルミニウム協会)
カーボンリサイクル技術の評価における課題と国際的な動向
..... 森本慎一郎(産業技術総合研究所)
材料のカーボンフットプリント
..... 武山健太郎、他(東京大学)
カーボンニュートラルに向けた自動車産業の取り組み
..... 松島正秀(日本自動車部品工業会)
CO₂回収装置の製鉄所適用に向けた取り組み
..... 岸本真也、他(三菱重工業)

冷凍・空調・ヒートポンプ分野におけるカーボンニュートラルへの取り組みと提言
..... 香川 澄(早稲田大学)、他
カーボンニュートラルに向けた建築学会の取り組み
..... 大岡龍三(東京大学)
「守ろう、碧き海と空を！」
～ 国際海運によるカーボンニュートラルへの取り組み ～
..... 吉岡哲也(東京海洋大学)
耐火物産業のカーボンニュートラルに向けた取り組み
..... 後藤 潔、他(耐火物技術協会)
カーボンニュートラルを目指すセメント産業の取り組み
..... 青木尚樹、他(セメント協会)
カーボンニュートラルに向けた火力発電業界の取り組み
..... 高木愛夫(火力原子力発電技術協会)
都市ガス業界のカーボンニュートラル化への取組みと将来展望
..... 奥田 篤(日本ガス協会)

「鉄と鋼」 Vol.109 (2023) No.12 掲載記事

論文
製鋼

製鋼MgO-C反応挙動に及ぼすMgO、カーボン粒度分布の影響..... 日野雄太、他

ISIJ International Vol.63(2023) No.12 掲載記事

Regular Articles

Fundamentals of High Temperature Processes

Formation mechanism and control of large-size CaO-MgO-Al₂O₃ inclusions in steel used for wind power S. Li *et al.*
Ironmaking
Crack disappearance effect of Fe-dispersed alumina composite ceramics using high-temperature oxidation of metallic iron particles D. Maruoka *et al.*
Critical granular size impact on softening and melting behaviors of sinters: from the viewpoints of the competition between In-situ liquid generation and holdup J. Xu *et al.*
Formation process of brittle layer in carbon Brick and kinetic analysis of dendritic penetration Y. Deng *et al.*

Steelmaking

Evaluation of auxiliary slag skimming process based on LES-VOF-DPM coupled model D. Li *et al.*

Instrumentation, Control and System Engineering

FCCNet: Surface defects identification of hot rolled strip based on lightweight convolutional neural network B. Wang *et al.*

Chemical and Physical Analysis

Micromechanism of heterogeneous reduction of iron ore sinters investigated by synchrotron X-Ray multimodal analysis Y. Takeichi *et al.*

Forming Processing and Thermomechanical Treatment

Modeling and evaluation of damages in bismuth-containing stainless steel rolling S. Hu *et al.*
Mechanisms of slip generation in cold rolling of AHSS M. Shimura *et al.*

Welding and Joining

Microstructure and mechanical properties of ring-mash-welded powertrain parts
 Proposal of new decision method for temperature control time in fracture toughness test
 Friction stir welding of Fe-15Mn-10Cr-8Ni-4Si seismic damping alloy

S. Yamane *et al.*
 T. Ozawa *et al.*
 T. Nagira *et al.*

Mechanical Properties

Modeling of loading-path dependent martensitic transformation in a low-alloy TRIP steel
 Local yield stress and its unusual independence on multi-axial stress states during Lüders deformation of medium-Mn, high-strength steel

T. Yasutomi *et al.*
 T. Matsuno *et al.*

Social and Environmental Engineering

Development of ancient copper smelting to ironmaking

K. Nagata *et al.*

Note**Fundamentals of High Temperature Processes**

Effect of slag phase on dephosphorization in BOF

L. Wu *et al.*

会 員 欄**新規入会**

青島 聡
 浅沼 徹
 石井 裕也
 井上 周大

岩橋 秀起
 牛尾 賢司
 梅田 真悟
 梅田 龍太郎
 大竹 善行
 大塚 康代
 岡部 洋
 岡本 恭祐
 金澤 竜太

神谷 僚
 葛谷 俊博
 久保 潤記
 久保 翔也
 後藤 茂之
 小林 章男
 小林 卓司
 佐々木 周平
 佐藤 優

澤木 直美
 篠 真央
 島居 大貴
 清水 竜之介
 城内 俊介
 関口 智大
 田代 空
 谷口 聡
 田矢 真介

津田 将志
 堤 竜二
 寺澤 祐介
 中川 純一
 中野 順司
 西岡 克人
 平野 祐一郎
 廣田 なつみ
 藤田 澄風

藤原 啓輔
 古川 雄大
 松木 隆紀
 松島 光宏
 三浦 敏郎
 元場 和彦
 森川 智仁
 安井 隼太
 矢野 智久

山田 亮
 吉川 真矢
 劉 延星
 梁 耀
 和久田 毅

**ご冥福をお祈り
 申し上げます**
 関口 力

